

「NOBUKO基金」 設立にあたって

2019年2月、娘伸子がシンガポールで短い人生に終わりを告げてから2年。「一人の人間として未来があるにもかかわらず金銭的な理由で不合理な立場に立たされている子どもが多い」ことに心を痛めていた彼女の言葉は今でも耳から離れません。そして娘が「困っている子どもたちの支援に」と私たち家族に託した財産を、NPOに適切にお届けするため、この度パブリックリソース財団の管理のもと「NOBUKO基金」を設立する運びとなりました。親にとっては子どもを失うことが一番の悲しみです。しかしこの「基金」が多くの子どもたちの将来を切り開く手助けとなれば、悲しみ以上の喜びとなると確信しています。

河合伸子・父

表紙:お父様による伸子さんの肖像画

*In Memory of
Nobuko Kawai*

Jun 29, 1977 - Feb 18, 2019

公益財団法人
パブリックリソース財団



〒104-0043

東京都中央区湊2丁目16-25 ライオンズマンション鉄砲洲第3 202号

TEL:03-5540-6256 FAX:03-5540-1030

<http://www.public.or.jp/>

NOBUKO基金

～困難な状況を生きる子どもたちを支援する～



河合伸子メモリアル基金

*Nobuko Kawai
Memorial Fund*

Nobuko Kawai Memorial Fund

河合伸子メモリアル基金

「NOBUKO基金」は、2019年2月18日に41歳の若さでご逝去された河合伸子さんのご遺産を原資として、お父様からのご寄付により、伸子さんのご遺志に基づき、困難を抱える子どもや家庭に育つ子どもたちを支援することを目的に設立されました。

伸子さんは、子どものころから「前向き」で、フロリダの大学に単身留学するなど大胆ともいえる「行動力」の持ち主でした。上智大学卒業後、金融ビジネスに関わる中、持ち前の行動力をもってシンガポールにて自ら起業しビジネスの成功を収められました。

「NOBUKO基金」は、伸子さんのご遺志に沿って、困難な状況を生きる子どもたちが困難を乗り越え、それぞれの可能性を最大限に伸ばせるように支援を行っているNPOを応援することを通じて、伸子さんご自身がそうであったように「前向き」で「行動力」のある子どもたちが育っていくことを願い、伸子さんの人生の軌跡と成果を未来の子どもたちへの贈り物とするものです。



支援内容

伸子さんのご遺志に沿って、次の3分野で先駆的な活動を行っているNPOを公募し、公正・中立な審査委員会の審議を経て適切な団体を選定し、それに対して助成を行います。一定期間後（通常年1回）、成果の報告を受け、それを寄付者に報告するとともに、ホームページ等に公開し、ご遺志を生かした基金の成果を社会に示していきます。

① 支援対象分野

- ① シングルマザー支援を行うNPO等の活動
- ② 虐待を受けた子どもに対する支援を行うNPO等の活動
- ③ 能力がありながら何らかの事情で能力を伸ばせない子どもに対する支援を行うNPO等の活動

② 支援内容及び採択予定件数

上記3分野ごとに、公募・審査を経て2団体（全体で6団体）を選定し、原則として3年間の継続助成とする。

- 1団体あたり 年間250万円まで
- 年間6団体程度（予定）

詳細はウェブページにてご確認ください。

<https://www.info.public.or.jp/nobuko-fund/>